

事業完了報告書

報告日付：2020年04月22日
団体名：一般財団法人全日本剣道道場連盟
代表者名：会長 下村 博文
TEL：03-5493-7080
事業完了日：2020年03月31日

1. 事業内容

1, 剣道錬成大会の開催

(1) 第54回全国道場少年剣道大会

- a. 日程等：7月29日・30日
- b. 場 所：日本武道館
- c. 参加者：少年少女剣士 6,066名
- d. 内 容：団体戦の実施

(2) 都道府県道場少年剣道大会

- a. 日程等：4～6月
- b. 場 所：全国
- c. 参加者：少年少女剣士、一般等 33,534名

(3) 第37回全国道場対抗剣道大会・全国道場少年剣道選手権大会

- a. 日程等：12月22日
- b. 場 所：新潟県
- c. 参加者：少年少女剣士、指導者等 1,000名（監督含む）
- d. 内 容：

ア. 道場対抗：小学生～指導者を1チームとし試合に臨む。

イ. 個人戦：各都道府県から選出された小中学生男女各個人戦の日本一を決定

2. 講習会等の開催

(1) 第58回全国選抜少年剣道合宿錬成会

- a. 日程等：4月1日～4日
- b. 場 所：全日本少年剣道錬成会館
- c. 参加者：小中学生剣士 49名

(2) 剣道指導者研修会

- a. 日程等：
 - ア. 秋：11月23日～25日
 - イ. 春：2020年2月28日～3月1日（中止）
- b. 場 所：全日本少年剣道錬成会館
- c. 参加者：指導者 60名（秋のみ）

(3) 地区剣道道場指導者講習会

- a. 日程等：
 - ア. 9月21日～22日（島根）
 - イ. 10月26日～27日（富山）
- b. 場所：
 - ア. 中国地区（島根）
 - イ. 中部地区（富山）
- c. 参加者：149名

d. 内容：審判法、日本剣道形、木刀による剣道基本技稽古法、指導法等。

3. 日本剣道少年団

(1) 第42回日本剣道少年団研修会（体験発表会）

- a. 日程等：2020年2月23日
- b. 場 所：東京（羽田タートルサービス㈱スカイプラザオフィス タートルホール）
- c. 内 容：小中計18名が剣道から学んだことを発表する。書道展の開催

(2) 海外交流

- a. 日程等：2020年3月27日～30日（中止）
 - b. 場所：台湾
 - c. 内容：全国大会等で優秀な成績を収めた少年剣士を海外へ派遣
4. ホームページの運営 連盟活動や大会の記録掲載等

■ 各種大会

- ・ 全国道場少年剣道大会（日本武道館）
- ・ 第54回全国道場少年剣道大会は海外チームとして米国、台湾からの自主参加、瑤子女王殿下のご臨席とお言葉を御得て開催した。会長下村博文が主催者を代表として挨拶、来賓として1日目に浮島智子文部科学副大臣、笹川陽平日本財団会長、2日目に古賀友一郎総務大臣政務官に代表して祝辞を頂いた。二日間で6,066名（監督含む）に及ぶ参加選手等が剣道を通じての錬磨向上と交流を行い目標を達成した。
- ・ 二日間、瑤子女王殿下の臨席を御得て、大会の権威を高めた。
- ・ 各都道府県道場少年剣道大会
各都道府県道場少年剣道大会は45都道府県で実施、例年同等数を保持し、延べ33,534名の参加を得た。
- ・ 全国道場対抗剣道大会
全国道場対抗剣道大会では、生涯剣道を目指し開催した。個人戦は「全国道場少年剣道選手権大会」と銘打ち、小・中・男・女4部門の同時開催となり参加選手は1,000名となった。
- ・ 大会参加者は、年間通し延べ40,600名に達し、剣道普及振興発展を行った。

■ 講習会

- ・ 少年合宿
第58回全国選抜少年剣道合宿錬成会は、49名の参加。講師は剣道界第一人者を依頼し、剣道の正しい学び方を指導し、各県・各道場の少年リーダーを育成した。
- ・ 指導者講習会
指導者講習会は秋、春の2回実施予定だったが、春は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。秋の実施では60名の受講者を以って講師共々少年指導技術の向上と少年剣士減少対策に付き意見の交換を図り、各道場指導者の充実を図った。
- ・ 地区剣道道場指導者講習会
地区剣道道場指導者講習会は、中国地区（島根県）、中部地区（富山県）で実施した。
合計149名の受講者の参加を御得て、少年剣道普及のため各道場等の指導の充実を図り、少年剣士確保のための指導者強化を行った。また、各地区の低段者の指導力の向上に貢献した。

■ 剣道少年団

全国研修会

全国研修会では、地区予選（応募総数1748作品）を経た小・中各9名の代表者によって、少年少女から見た剣道とその精神の善用活動等が発表された。新型コロナウイルスの影響により来場者数は減ったものの230名であり、関心の高さが見られた。また、剣道雑誌等を通じてその内容が

広く掲載され、少年剣道の普及に貢献した。

- ・ 海外交流活動

本年は3月27日から30日に台湾へ22名を派遣し合同交流稽古を行う予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止した。

- ホームページ作成事業

道場検索サイトの変更、追加、保守・維持管理を行い、少年少女剣士確保を促す情報発信を続けている。また、全国道場少年剣道大会、全国道場対抗剣道大会のインターネット速報配信を充実させ、剣道普及に貢献している。サイトページ全体へのアクセス数は昨年比で年間約41万増加と特筆すべき結果となった。twitter フォロワー数は年間で770増加し、SNSによる情報発信の効果を得られた。